

神奈川県営水道事業経営計画の取組状況について（令和元年度）

1 趣旨

県営水道事業では、令和元年度から5年間の「神奈川県営水道事業経営計画」を策定して取組を進めており、令和元年度における主要事業の取組状況は次の通りです。

2 経営計画主要事業の概要と取組状況

(1) 管路の適切な更新・維持管理（グラフあり・P5 参照）

[事業の概要]

年間の管路更新率を計画期間内に1%以上に引き上げ、100年以上の耐久性が期待できる耐震継手管を使用して、老朽化が進む管路の更新と耐震化を推進します。

[取組状況]

- 約70kmの水道管を更新し、年間の管路更新率は0.74%と計画目標値を上回りました。

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画目標	0.71%	0.72%	0.77%	0.88%	1.00%以上
実績	0.74%	—	—	—	—

- 管路更新に当たり、新たに布設する水道管は、東日本大震災クラス（震度7）への耐震性があるとされている「耐震継手管」であるため、管路を更新することで耐震化も併せて図られ、令和元年度は、地震に強い水道管※の割合が76.6%となりました。（計画目標：令和5年度 78.4%）

※ 地震に強い水道管：耐震継手管及び震度6弱程度までの地震に耐えられる折れない材質を使った管を地震に強い水道管と呼んでいます。

(2) 水道システムの再構築（グラフあり・P6、7 参照）

[事業の概要]

配水池や小規模水源の統廃合を推進するほか、県内の水道事業者との広域的な連携に取り組みます。

[取組状況]

- 令和元年11月に神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市の各水道事業管理者、神奈川県内広域水道企業団の企業長等及び水道事業、

河川行政に関する有識者を構成員とする「これからの時代に相応しい水道システムの構築に向けた検討会」を設置し、5水道事業者が連携した再構築の方向性について議論しました。

- ・ 5水道事業者で取り組む方向性として、①浄水場の統廃合など大胆なダウンサイジングにより、5水道事業者全体で最適となるよう施設を再構築すること、②災害時等に浄水場が停止した場合のバックアップ体制を強固にするため、取水から浄水までを一体的に運用する仕組づくりを進めること、③エネルギー消費、災害リスクの低減を図るため、ポンプを使わずに送水できる上流からの取水を優先した水道システムの構築を目指すこと、について5水道事業者が共通で認識しました。

(3) 経営基盤の確立

[事業の概要]

民間活力の活用等による業務の効率化、水道施設の大量更新を支える職員体制の構築や技術者の育成のほか、料金体系のあり方の検討等を行います。

[取組状況]

- ・ 技術職員の育成を図るため、技術系の研修全体を体系化し、経験年数等に応じて習得すべき知識・技術を見える化しました。
- ・ これからの時代に相応しい料金体系のあり方について、「神奈川県営水道懇話会」において検討を開始しました。

(4) 水道における新技術の活用

[事業の概要]

水道スマートメーターの一部地域でのパイロット的試行の実施や、センサー・AI等を使った設備の維持管理技術や管路の劣化を予測する方法の研究等を行います。

[取組状況]

- ・ 水道スマートメーターの実用化に適した通信方式の研究を行いました。
- ・ AI等を用いた「電気・機械設備の故障・劣化診断技術」について、民間事業者と共同研究の協定を締結しました。

(5) 水道施設の耐震化（グラフあり・P8参照）

[事業の概要]

浄水場や配水池、重要給水施設への供給管路の耐震化を進めます。

[取組状況]

- ・ 浄水場や配水池の耐震化を進め、寒川第3浄水場の耐震化を完了しました。
- ・ 県が指定する災害協力病院2施設への供給管路の耐震化を完了しました。

(6) 危機管理体制の充実

[事業の概要]

浄水場の火山対策、浸水対策やポンプ所の停電対策を行うほか、他事業者との災害訓練の充実や水道施設の保安対策の強化を図ります。

[取組状況]

- ・ 相模川や目久尻川の氾濫に備えた寒川浄水場の浸水対策として、計画を前倒して敷地外周フェンス基礎の嵩上げ等に着手しました。
- ・ 揚水ポンプ所の停電対策として、令和元年度からの2か年の債務負担行為を設定し移動電源車の導入に取り組みました。
- ・ 災害時の相互応援協定を締結している千葉県企業局や、管工事業者と合同訓練を実施しました。
- ・ 浄水場の監視カメラやセンサー等の防犯機器を增強しました。

(7) 積極的な情報発信と適切な情報提供

[事業の概要]

ホームページやSNS等を活用した情報発信に取り組むほか、水道管路情報図のWEBでの提供を行います。

[取組状況]

- ・ 企業庁LINE公式アカウントを開設し、各種イベント情報のほか、断水等の緊急情報等を迅速に情報発信しました。

(8) お客様のニーズを踏まえた事業運営

[事業の概要]

お客様意識調査を実施するほか、コンビニエンスストアでの支払拡大等に取り組めます。

[取組状況]

- ・ 給水区域の在住者5,000人を対象とした「お客様意識調査」、及び921事業所を対象とした「事業所調査」を実施しました。
- ・ 県営水道の使用開始・休止手続きについて、LINE等を活用した電子申請の運用を開始しました。
- ・ 給水装置工事に係る審査手数料などの収納金について、上下水道

料金と同様にコンビニエンスストアでの支払いを可能にしました。

(9) 地域社会への貢献

[事業の概要]

水道事業の包括委託の汎用的な公民連携モデルを構築するほか、地域の教育活動や地域福祉にも貢献する取組を行います。

[取組状況]

- ・ 箱根地区水道事業包括委託（第2期）を開始しました。
- ・ 平成26～30年度に実施した箱根地区水道事業包括委託（第1期）の最終評価報告書を取りまとめ、中小水道事業を対象にセミナーを開催しました。
- ・ 使用済み水道メーターの分解作業を給水区域内の障害福祉サービス事業所に委託しました。

(10) 国際社会への貢献

[事業の概要]

海外への技術協力に取り組むほか、ベトナムランソン省への具体的な技術協力を行います。

[取組状況]

- ・ ベトナムランソン省・フンイエン省から研修生を受け入れ、約1月間の研修を実施しました。
- ・ 平成30年に「水量管理分野を対象とする覚書」を締結したランソン省への技術協力について、プロジェクトチームを設置し、現地での技術協力等を行いました。

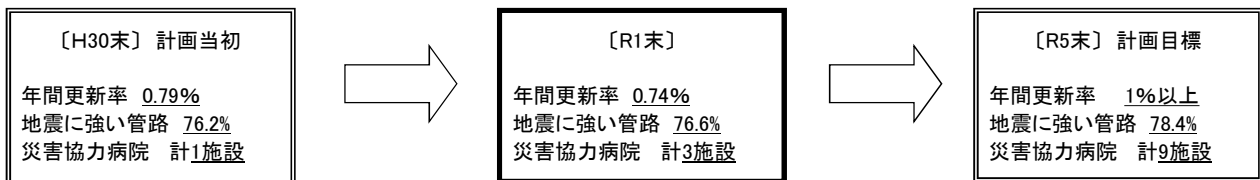
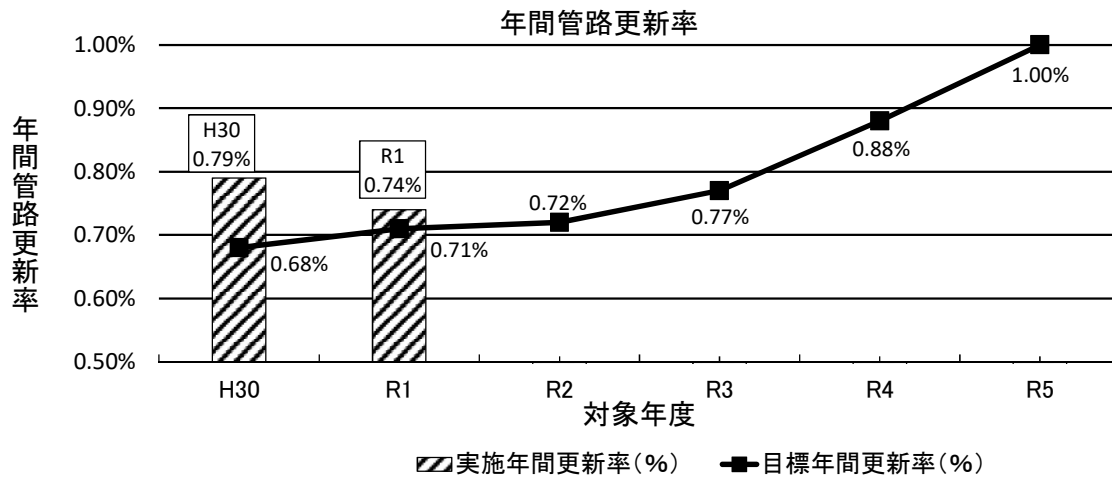
水道事業経営計画取組状況個票 (1)管路の適切な更新・維持管理

【経営計画における目標と達成状況】

- i 年間管路更新率を0.68%から段階的に1%以上に引き上げる。
- ii 地震に強い管路の割合を76.2%から78.4%まで向上させる。
- iii 災害協力病院への供給管路の耐震化実施個所数を1施設から9施設まで向上させる。

	H30	R1 決算	R2 計画	R3 計画	R4 計画	R5 計画	計 (R1~R5)
事業の達成率							計画目標
目標年間更新延長(km)	-	66.0	67.0	71.0	81.0	92.0	-
目標年間更新率(%)	0.68%	0.71%	0.72%	0.77%	0.88%	1.00%	1.00%以上
実施年間更新延長(km)	-	68.3	-	-	-	-	-
地震に強い管路の割合(%)	76.2%	76.6	-	-	-	-	78.4%
災害協力病院の実施設数	1	2	-	-	-	-	9施設
実施年間更新率(%)	0.79%	0.74%	-	-	-	-	-

【経営計画期間内における進捗状況】



水道事業経営計画取組状況個票 (2)水道システムの再構築

【経営計画における目標と達成状況】

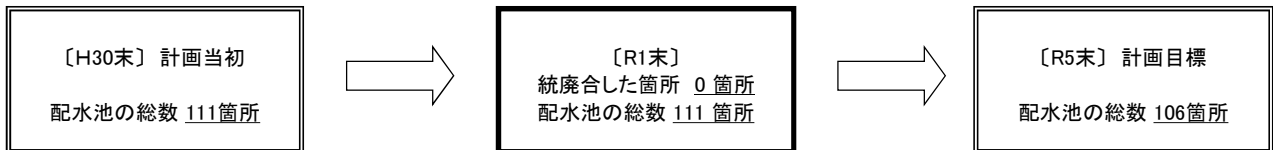
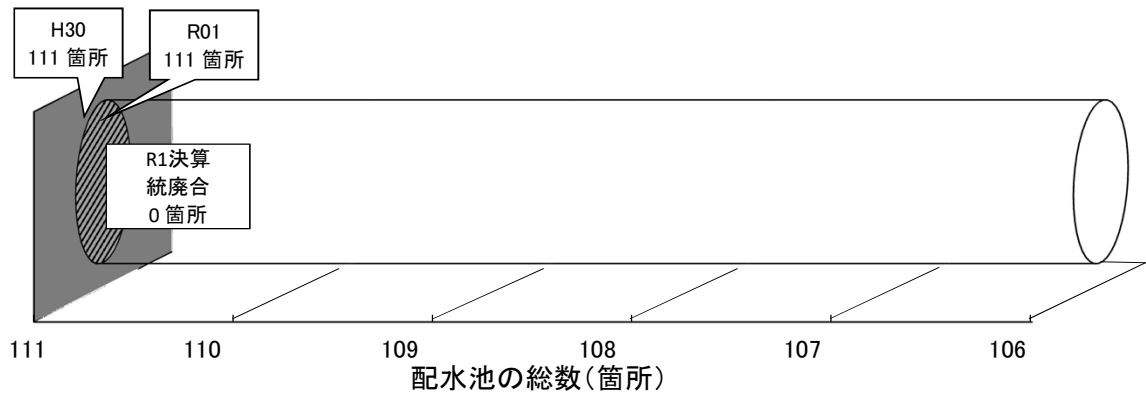
配水池の統廃合の推進(111箇所→106箇所)

	H30	R1 決算	R2 決算	R3 決算	R4 決算	R5 決算	計 (R1~R5)
事業の達成率							計画目標
廃止した配水池(箇所)		0					
配水池の総数(箇所)	111	111					106

※年度別の計画目標は無し

【経営計画期間内における進捗状況】

配水池の統廃合(箇所)



水道事業経営計画取組状況個票 (2)水道システムの再構築

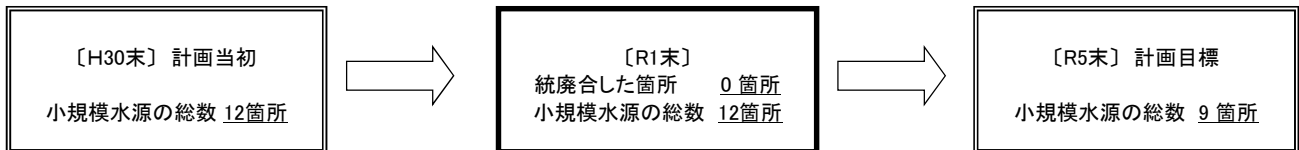
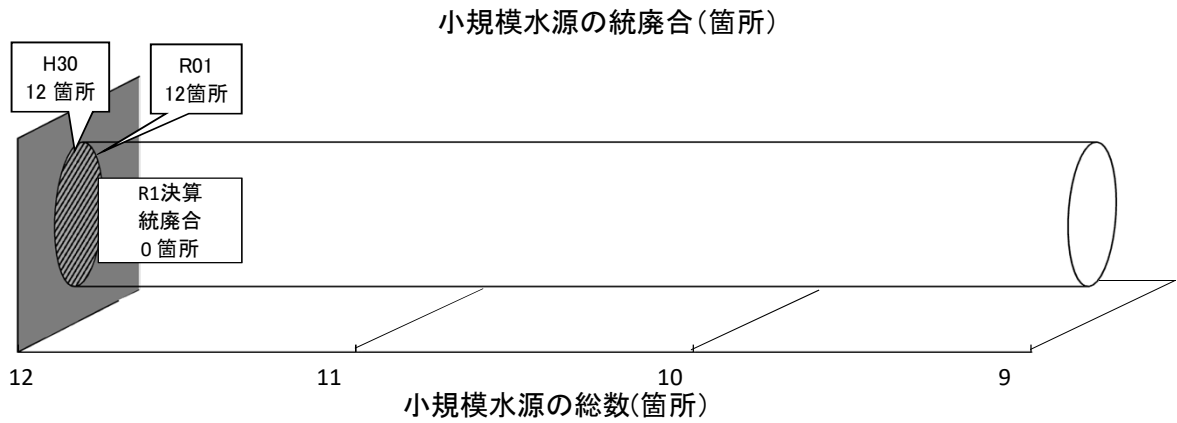
【経営計画における目標と達成状況】

小規模水源の統廃合の推進(12箇所→9箇所)

	H30	R1 決算	R2 決算	R3 決算	R4 決算	R5 決算	計 (R1~R5)
事業の達成率							計画目標
廃止した小規模水源(箇所)		0					
小規模水源の総数(箇所)	12	12					9

※年度別の計画目標は無し

【経営計画期間内における進捗状況】



水道事業経営計画取組状況個票 (5)水道施設の耐震化

【経営計画における目標と達成状況】

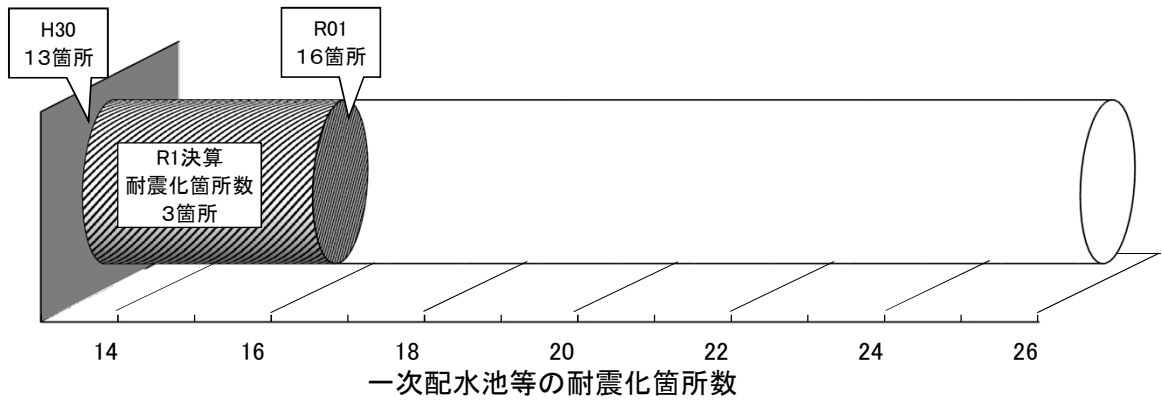
一次配水池等の耐震化の推進(13箇所→26箇所)

	H30	R1 決算	R2 決算	R3 決算	R4 決算	R5 決算	計 (R1~R5)
事業の達成率							計画目標
進捗配水池等耐震化箇所数		3					
累計配水池等耐震化箇所数	13	16					26

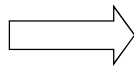
※年度別の計画目標は無し

【経営計画期間内における進捗状況】

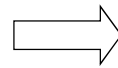
一次配水池等の耐震化箇所数



〔H30末〕計画当初
累計耐震化箇所数 13箇所



〔R1末〕
累計耐震化箇所数 16箇所



〔R5末〕計画目標
累計耐震化箇所数 26箇所